

情報公開文書

課題名 : フィットキュアスパインを使用した早期離床の効果に関する研究

研究期間: 倫理委員会承認日～2021年3月31日

1. 研究の対象

2017年4月～2019年3月に脊椎椎体骨折と診断され当院に入院し、理学療法を行った方。

2. 研究目的・方法

これまで脊椎椎体骨折の固定にはコルセットが多く用いられてきましたが、ご本人の体格に合わせて作成するため完成までには数日を要し、それまでの期間においては安静を余儀なくされてきました。そんな中、診断後すぐに装着ができ、装着直後から車椅子乗車や歩行訓練が開始できるフィットキュアスパインが発売され、当院では2018年3月より装着が開始されました。そこで本研究では、コルセットを使用された方とフィットキュアスパインを使用された方の経過等を比較検討することで、早期から身体を動かすことの良い点と悪い点を検証することを目的としています。

この研究では、当院に入院され理学療法を受けた患者さんの診療録の記載をもとに比較検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 性別・年齢などの基本情報、BMI(体格指数)、入院期間、安静期間、入院中の合併症、退院時の歩行状況、病状およびその経過等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果はリハビリテーション関連学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

住所: 浜松市中区富塚町 328 番地 浜松医療センター

電話: 053-453-7111(代表)

研究責任者: リハビリテーション技術科 理学療法士 鈴木健吾